

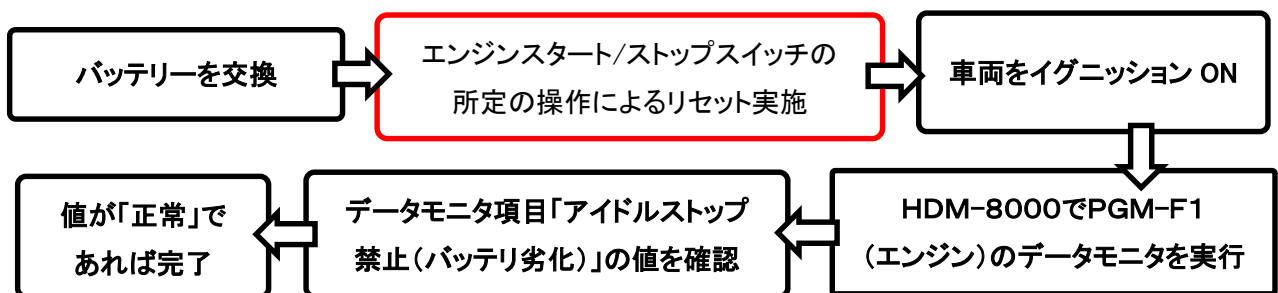
日立ダイアグモニタHDM-8000操作ガイド ホンダ/アイドルストップ車のバッテリー交換時のリセット(12Vバッテリー内部抵抗値リセット)

注意事項/必ずお読みください

- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点を参照の上、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

1. 作業の流れ

- アイドルストップ付のホンダ車の場合、バッテリー交換時に「12Vバッテリー内部抵抗値リセット」という作業を行う必要があります。
- リセット作業自体は運転席側のエンジンスタート/ストップスイッチを所定の操作をすることで可能ですが、リセットの確認をスキャンツールで行うことで、確実にリセット作業を行うことが可能です
- 「12Vバッテリー内部抵抗値リセット」作業の全体の流れは以下となります。



2. HDM8000操作手順(作業要領含む/実行例:2WD 整備モード)

【手順001/エンジンスタート/ストップスイッチの操作によるリセット】

バッテリーを交換後、エンジンスタート/ストップスイッチを下記の様に操作してください。

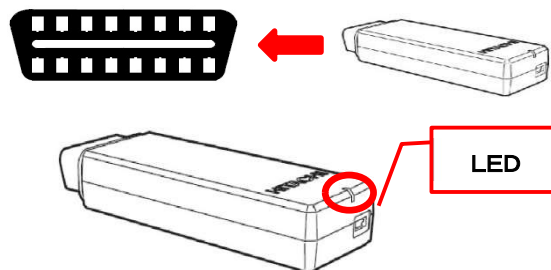
- ① 電気負荷(A/G、ヘッドライト等)をすべてOFFにしてください。
- ② イグニッション OFF(LOCK)モードにしてください。
- ③ イグニッション ACCモードにしてください。
- ④ イグニッション ONモードにしてください。
- ⑤ エンジンを始動し、アイドルストップ状態を1分間保持してください。
- ⑥ イグニッション OFF(LOCK)モードにしてください。
- ⑦ 上記②～⑥を4回以上繰返してください。

- イグニッション ACCモードおよびONモードを経由せず、イグニッション OFF(LOCK)モードから即時エンジン始動した場合には、12Vバッテリー内部抵抗値が更新されない場合がございます。
- ECUに記録された内部抵抗値は、バッテリーキャンセルおよびECUのリセットを行っても消去されません。
- エンジン始動毎に12Vバッテリーの内部抵抗値が更新、記録され、抵抗値(複数メモリ)の平均値がしきい値を超えるとECUが12Vバッテリーの劣化を判定します。

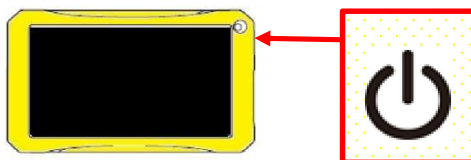
(次ページに続きます)


【手順002/車両へのHDM-8000の接続と起動】

- ①HDM-8000のインターフェースボックスを車両側の診断コネクタに接続して下さい。
- ②HDM-8000のインターフェースボックス本体側LED が緑色に点灯していることを確認して下さい。



- ③HDM-8000のタブレット本体の右側面にある電源スイッチを押して、タブレットを起動して下さい。



- ④タブレットが起動したら画面上のカギのマーク  に指を当てて右側にスライドさせて、画面ロックを解除して下さい。
- ⑤タブレットとインターフェースボックスが無線 (Wi-Fi/ワイファイ) で接続されているか確認を行います。まず、「車両一覧」画面が表示されましたら画面右上に指を当てて、そのまま下におろして「クイック設定ツール」を表示して下さい。



- ⑥「クイック設定ツール」内にあるWi-Fi(ワイファイ)のアイコンが右図の様に色が反転した状態で表示され、その下にHDM8000のインターフェースボックスのシリアル番号(右図の破線で囲われた文字列)が表示されていれば無線での接続がされております。次の【手順002】に進みます。



【手順003/クイック設定ツールの終了】

「クイック設定ツール」の下端部に指を当てたまま上方に上げて「クイック設定ツール」を終了して下さい。



(次ページに続きます)


【手順004/車両側のイグニッションキーON】

IGキースイッチをONにしてください。(手順005に進みます)

【手順005/「故障診断」のタップ】

① タブレットの「車両情報」の欄(赤の破線で囲われた部分が空欄であることを確認して下さい)。(※1、※2)



※:「車両情報」の欄に作業中の車両と異なる車両の情報が表示されている場合は画面下部の「戻る」
 ボタンをタップすると空欄になります。

② 画面上部の「故障診断」ボタンをタップして下さい(【手順005に進みます】)。

【アプリ設定をフル機能モードに設定している場合】

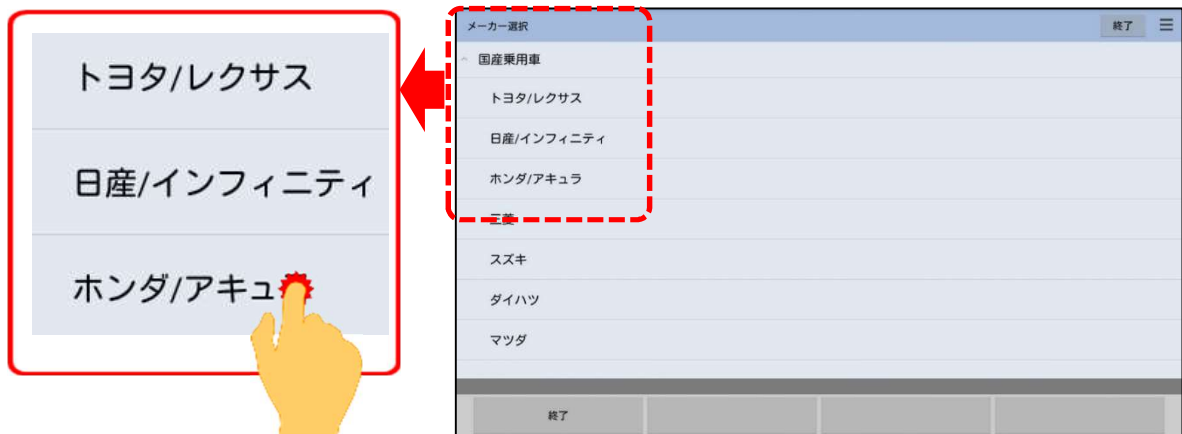


【アプリ設定を故障診断モードに設定している場合】



【手順006/メーカー選択】

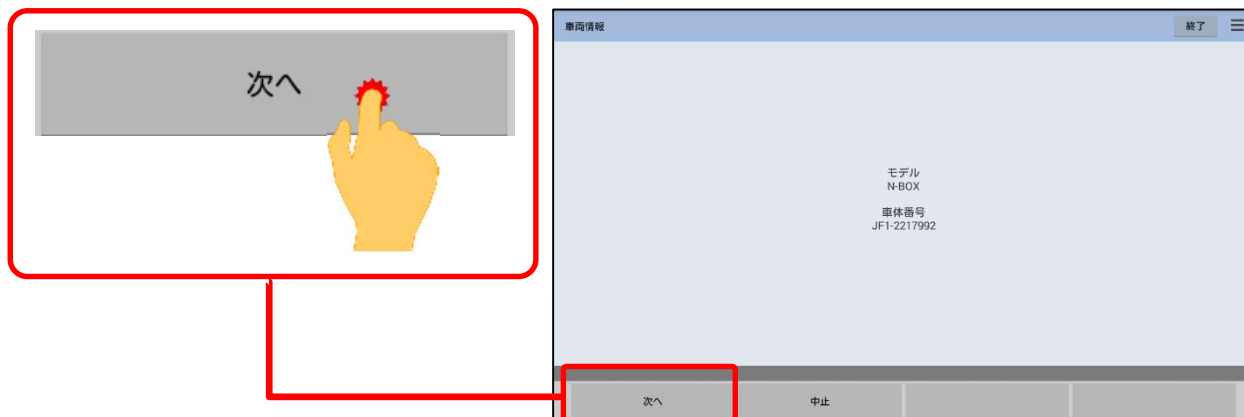
画面に「接続中...しばらくお待ちください」が表示されたあと「メーカー選択(診断ソフトの選択画面)」が表示されます。「ホンダ/アキュラ」をタップして下さい。



(次ページに続きます)

【手順007/車両情報の表示】

画面がソフト名の表示から「イニシャライズ中・・・」「車体番号を取得しています」の順番に画面の表示が切り替わり、最後に車両名と車体番号が表示されます。表示内容を確認後、画面左下の「次へ」をタップしてください



車両により画面の表示内容が異なる場合がございますので、その際は画面表示に従って操作を行ってください。

【手順008/診断の選択】

「ホンダメインメニュー」が表示されましたら「診断」をタップしてください。

(【手順008】に進みます)



【手順009/PGM-F1の選択】

「システム選択」が表示されましたら「PGM-F1」をタップしてください。

(【手順008】に進みます)



【手順010/データモニタの選択】

「イニシャライズ中・・・」としばらく表示された後、PGM-F1の診断メニューが表示されます。「データモニタ」をタップしてください。



(次ページに続きます)

【手順011/車両情報の表示】

「イニシャライズ中・・・」としばらく表示された後、表示項目選択画面が表示されます。画面左下の「開始」をタップしてください。



【手順012/データモニタの開始と「アイドリングストップ禁止(バッテリー劣化)」の値確認】

データモニタが開始されます。画面をスクロールさせてを確認してください。値が「正常」と表示されていればリセット完了です。(完)

項目	値	単位	最小値	平均値	最大値
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (FCU)	禁止				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (フードオープン)	禁止				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (EPS)	禁止				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (DC-DCコンバータ)	正常				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (アイドリングストップ禁止SW)	正常				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (バッテリーマネジメント)	禁止				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (バッテリー劣化)	正常				
<input type="checkbox"/> アイドリングストップ禁止 (HVAC)	正常				
<input type="checkbox"/> アイドリング学習(アイドルエア)	完了				
<input type="checkbox"/> DBWカーボン詰り率	0.00	%	0.00	0.00	0.00
<input type="checkbox"/> VTCシステム制御状況	RUN				

「アイドリングストップ禁止(バッテリー劣化)」の値が「禁止」と表示されている場合は整備解説書を参照の上、該当箇所の点検を行ってください。